

# 夕刊 磐城時報

行發日三十  
印刷所 磐城時報社  
行所 磐城時報社  
電話 二二二  
郵政 第三〇三號

## 縣下警防團長會議

### 愈々明後日に近く 第一日は對抗競技

縣下警防團長會議は、十五日八時より日出ヶ岡公園忠魂碑前  
から三日間平市に開かれるが、に於て舉行する、終つて軍人分  
十五日は午前九時から警中校庭會主催にて銃劍術の試合を行  
に於て警防團員の對抗競技を行  
ひ午後二時終了、午後三時から  
公會堂で理事會、四時評議員會  
を開いて第一日を終り午後五時  
から平市協賛會主催で谷口樓に  
から平市協賛會主催で谷口樓に  
懸旗の姿を張る。

### 經濟更生 實行宣誓

大浦村は昨十四年九月經濟更生  
特別村に指定されたのである、  
五日午後一時より小學校講堂に  
於て若島知事の臨席實行宣誓式  
を舉行する。

## 軍馬忠魂碑

### 公園入口に建立

一兵に劣らぬ天晴れな一手柄を平産養育院畢業後同町松  
たて、戦場の霧と消へた物言は村病院に勤務中の處今日赤松  
の戦士、馬の靈を慰むるため平産で某方面に出動を命ぜられ昨  
署管内半馬商組合員六十餘名と十一日午後二時十五分發頭頭  
愛馬を前線に送つた地方の人達 數見送りの聲呼を浴び出立した  
によるその忠魂碑は總工費七百  
餘円で市内松ヶ岡公園入口附近  
に建立、來月二日午前十時から  
これが除幕式を舉行する。

### 平驛乗降客

平驛に於ける十四年度の旅客數  
は乗車百五十七萬二千二百五  
五人、降車百五十六萬八千七  
百五人、計三百一十四萬一千  
九百零五人に達した。これは  
仙石石段、碑前には陸軍中將  
高木義久氏の華になる。出征  
軍馬忠魂碑」と刻まれてある  
制してゐるが此の收入乗車券五  
十四萬四千三百二十七圓、手小  
荷物三萬一千三百七十三圓五  
角、貨物三萬五千三百七十三圓五  
角を合せて五十七萬五千七百  
七十九圓を十三年度に比較す

## 芳賀さん出動

草野村出身芳賀まさいさん(二  
九)は去る昭和十年春市内南町  
四十九錢で十三年度に比較す

### 花時に 天然痘警戒

いよ、櫻花ホコロボ春暖期に  
入つて未だ怖ろしい話題を巷に  
投げかけてゐるものに天然痘が

## 好問の強盗犯人 殺人未遂で送局

窃盜の余罪も發覺  
研問村南藤と方を取つた強盗難を告げ、殊に新工場昭和案會  
傷者犯人栃木縣喜連川町前科八  
犯佐藤三(四八)は平産養育院  
法主任、獨地部長刑事等取調べ  
の結果、金は欲しくして押し  
入つたが顔を見られたものと早  
に逃がせしやうとした事を自  
供したので強盜殺人未遂で一兩  
日中に送局する事になつた。尚  
同人は去る二月九日千葉縣勝山  
に居る時千葉市内町小川家具  
製作所に忍び込んで大工道具六  
十餘種を盗んで逃げ去つた事  
も發覺した。

## 社宅八十戸

近畿工業の除昌に基だしい住宅

### 小兒科・内科 酒井醫院

入院隨時  
平市南町(電話五二五)  
醫學博士 酒井 保

現狀にあるを見た町吳羽人組を計畫し、地二萬坪を買收し、  
では工場地の大字中田に工段三丁にその認可申請をなし指令  
十七萬圓で社員住宅八十戸の建築工事をすることになつてゐる

### あすの日曜日は 見頃の松ヶ岡

市役所で幹旋所設置

あすの日曜日は  
見頃の松ヶ岡  
市役所で幹旋所設置

### 井上一次中將が 保育園に大額

大浦村最勝院主職阿部宗順氏經上中將は今十三日午前十一時よ  
營の四倉町字木町三寶保育園に、警備女學校並に午後一時より  
元第二師團長、現警備會々長井上一次中將が長き非平第四小學校に於て講演會を  
上、一次中將が長さ七尺幅六尺の開演した

### 娘斬りの容疑者 係官も手古摺る

平市に去る九日檢査された娘斬  
りの犯人として目下取調を受け  
てゐる赤井村西小川農山口平七  
長男正(二六)は嘘で字も讀めず  
係官を手古摺らしてゐるが、兇  
器と見られる短刀や剃刀、衣類  
人相、風体等から見ても確實とも  
思はれるが確者の爲係官もほどほど  
手を洗ひてゐる

### 平市人筆錄

△出生 下平字由田三三小野滿  
夫氏長女美智子さん、二丁目  
一渡邊正雄氏長男和雄君  
△結婚 下平字由田小野滿夫  
(二八) 田村郡御木澤村御祭宇  
中(四九) 五渡邊キクノさん  
(二四)、大町四渡邊正雄氏  
(二九) 大浦村長友子古屋敷二  
四渡邊カネマさん(二八) 内郷  
村小島字作田六遠藤早苗氏  
(二七) 北目町九九和田登美子  
さん(二二)  
△死亡 一丁目當時東京市杉並  
區阿佐ヶ谷五町目島海富士ま  
さん(六二)

### 勤勞所得の源泉課税に就て

六、基礎控除の方法  
基礎控除は右の金額を先づ倍  
給料等の給與から控除する  
のであつて、賞與からは原則と  
して控除を認めないものであり  
ます。併し、給料等の給與が  
與が基礎控除額に達しない場合  
例外へば月給五十圓の又は六  
十圓の基礎控除を生じます。な  
らば、その基礎控除を控除するに  
かゝる場合は、四月からの賞與  
を賞與時迄の控除不足額の中  
計を賞與から控除するのであ  
ります。その結果、賞與が控  
除不足額の合計を超過した場  
合には、超過額に對し、控除が  
かりますが、賞與が控除不足  
額であつた場合には、賞與に對  
しては税金がかからないので  
あります。又、賞與を年の中途  
にしか貰はないといふやうな  
場合には、賞與を支給時期以後の控  
除不足額を年末に差し引いて、賞  
與に及びて行きます。この便  
宜その賞與から年末迄の控除  
不足額を算出して引いて貰ふ  
ことになつて、過納となつた税  
金は翌年になつてから税務署  
に於て精算の上過納の税金を  
拂戻すのであります。

### 保市人筆錄

△出生 下平字由田三三小野滿  
夫氏長女美智子さん、二丁目  
一渡邊正雄氏長男和雄君  
△結婚 下平字由田小野滿夫  
(二八) 田村郡御木澤村御祭宇  
中(四九) 五渡邊キクノさん  
(二四)、大町四渡邊正雄氏  
(二九) 大浦村長友子古屋敷二  
四渡邊カネマさん(二八) 内郷  
村小島字作田六遠藤早苗氏  
(二七) 北目町九九和田登美子  
さん(二二)  
△死亡 一丁目當時東京市杉並  
區阿佐ヶ谷五町目島海富士ま  
さん(六二)

### 八方散

飲んで腫物の妙藥  
水野藥局  
平市一、電六九九

### 平稅務署長談

合には超過額に對し、控除が  
かりますが、賞與が控除不足  
額であつた場合には、賞與に對  
しては税金がかからないので  
あります。又、賞與を年の中途  
にしか貰はないといふやうな  
場合には、賞與を支給時期以後の控  
除不足額を年末に差し引いて、賞  
與に及びて行きます。この便  
宜その賞與から年末迄の控除  
不足額を算出して引いて貰ふ  
ことになつて、過納となつた税  
金は翌年になつてから税務署  
に於て精算の上過納の税金を  
拂戻すのであります。

### 娘斬りの容疑者 係官も手古摺る

平市に去る九日檢査された娘斬  
りの犯人として目下取調を受け  
てゐる赤井村西小川農山口平七  
長男正(二六)は嘘で字も讀めず  
係官を手古摺らしてゐるが、兇  
器と見られる短刀や剃刀、衣類  
人相、風体等から見ても確實とも  
思はれるが確者の爲係官もほどほど  
手を洗ひてゐる

### 塩豚

コンポーク  
平市田町  
三三三三屋  
電話三三三番

### 平市人筆錄

△出生 下平字由田三三小野滿  
夫氏長女美智子さん、二丁目  
一渡邊正雄氏長男和雄君  
△結婚 下平字由田小野滿夫  
(二八) 田村郡御木澤村御祭宇  
中(四九) 五渡邊キクノさん  
(二四)、大町四渡邊正雄氏  
(二九) 大浦村長友子古屋敷二  
四渡邊カネマさん(二八) 内郷  
村小島字作田六遠藤早苗氏  
(二七) 北目町九九和田登美子  
さん(二二)  
△死亡 一丁目當時東京市杉並  
區阿佐ヶ谷五町目島海富士ま  
さん(六二)

# ごんかつ

## 専門の店

御ひいきをお願致します

午前十一時より午後十一時まで

平市仲田町

(出前速)

か の 家  
電話四六五番

## 自動車 運轉手 助手 募集

▲年齢を問はず  
▲給料其他優遇す  
四倉町字仲町(寺町)

新妻自動車  
電話一六〇番

銃後の作家計費引下に  
一日のサビステイを  
ご利用下さい



平マケド  
電話七〇

公債・債券  
質物一般

## 三井質店

平市四丁目  
電話六〇六番

**花村(やぶそば)の御披露**

毎度有難う存じます。御なじみのやぶそばを「花村」と改め室内の設備を改善、御好み次第の御料理を心地よく召上るここの出来るやうになりました。是非御来店御最負の程願ひ上ます。

割烹 花村  
田町(電四番)

## 蓄膿症 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あると雖他藥の及ばざる良藥で、左の病症の方は一時も早く服用され快癒されん事をお奨め致します

蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり

快鼻湯 製造元 水野藥局  
責任製劑者 藥劑師 水野清一  
福島縣平市一丁目電話六九九番

## 内科・小兒科

六丁目(五丁目交番隣)

## 正木醫院

醫學博士 正木信功  
入院隨意 電話四三九番

二百年の歴史を有する  
家傳靈藥 消食散  
相馬ハンサキ (一名かげの藥)

代理店 丸龜商店  
平市大町 電話一三三番

文部省習字科檢定委員  
國定書方手本筆者  
鈴木翠軒先生御選定

愛國筆  
清樂筆  
一本金拾錢より金百圓迄

魁文堂  
電話三一三番

久  
店商屋釜  
電九・九九番

一、口腔外科  
一、レントゲン科

中野齒科  
平市田町(電五〇九)  
院長 中野應次

産科・婦人科  
平市田町  
井坂醫院  
電話五五九番

内科 外科  
天好理  
通平  
平野  
市田



足もと  
御注意

足袋が綺麗だと、グツと人  
品が引立つ

汚れ易い足袋は  
モノゲンで探ま  
ずに洗ひませう  
スフに石鹸は禁  
物、綺麗にしよ  
うとして、傷める  
御用心。

新正純  
シカモ

店品洋野中(正) 店理代 すまりめに店名有内市  
三五電・二平

## 吸入用酸素純度99%

モノサシ  
ハカリ  
マラス

体温器  
寒暖計

寫眞機  
材料一式

關内藥局  
電話四〇番

吉田眼科醫院  
平市紺屋町(電話六八番)